

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、
お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

パーソナルブレンダー

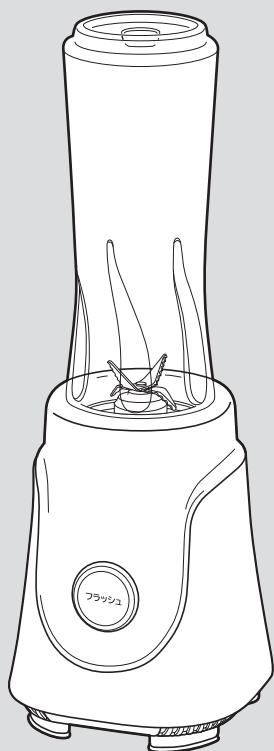
エッチエックス シー 1 0 0 0

型式 **HX-C1000**

このたびは、パーソナルブレンダーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。



VEGEE

目次

■ 安全上のご注意	2・3
■ 使用上のご注意	4
■ 各部のなまえ	5
■ ご使用前に	6・7
■ 使いかた	8・9
■ お手入れと収納	10・11
■ モーターの保護装置について	11
■ 故障かな?と思ったら	12
■ 消耗部品について	13
■ 仕様	14
■ 保証とアフターサービス	14
■ ご相談窓口	15

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

- このパーソナルブレンダーは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	
 「警告や注意を促す」内容のものです。	 してはいけない「禁止」内容のものです。
 実行していただく「指示」内容のものです。	

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	
 改造はしない。また、修理技術者以外 の人は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因となります。修理は お買い上げの販売店または、日立家電品の ご相談窓口にご相談ください。	 電源コードを破損させたり、無理な方向に 引っ張り出したり、加工しない(無理に曲げ る・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を 載せる・挟みこむ・高温部に近づけるなど) 電源コードが傷付いて、火災・感電の原因に なります。
 水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電のおそれがあります。	
 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電やけがをすることがあります。	 電源コードや電源プラグが傷んでいた り、コンセントへのさし込みがゆるい時 は使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。
 ボトルの中にスプーンや箸など 調理材料以外を入れて運転しない けがをするおそれがあります。	
 子どもだけで使わせたり、 幼児の手の届くところで使わない やけど・感電・けがをするおそれがあります。	 単相交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。
 カッター刃や、回転部を露出したままで 運転しない けがをするおそれがあります。	
 異常・故障時にはただちに使用を 中止する 火災・感電・けがをするおそれがあります。	 電源プラグはコンセントの奥まで しっかりさし込む 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあり ます。

 注意	
 不安定な場所では使用しない けがの原因となります。	 倒したり、落したり、ぶつけたり、 強い衝撃を加えない けがや破損のおそれがあります。
 60℃以上の熱い材料は、容器に入れない ふきこぼれによるやけどや、容器割れによる けがの原因となります。	
 運転中にボトルの取り外しは行わない けがの原因となります。	 ボトルを電子レンジやオーブンに 入れてあたためない 破損の原因となります。
 運転中に移動させない けがの原因となります。	 電源プラグを抜く時は、 電源コードを持たずに 必ず電源プラグを持って引き抜く 感電やショートによる発火を防ぐためです。
 カッター刃は鋭利なので、 直接手を触れない けがの原因となります。	
 保護スイッチを細い棒などで押さない スイッチが入ったままですと回転部が回転 し、けがをするおそれがあります。	 運転が停止していることを 確認してから、電源プラグを 抜き差しする けがの原因となります。
 傷がつくような使い方をしない けがをするおそれがあります。	 お手入れするときは、スイッチを切り 電源プラグをコンセントから抜く けがをするおそれがあります。
 テレビやラジオの近くで使用しない 画像が乱れたり、雑音が入ることがあり ます。このようなときは本機を離して使用 してください。	
	 使用時以外は、電源プラグを コンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電 火災を防ぐためです。
	 部品の取り付け・取り外しの際は 必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やショートによる発火を防ぐためです。

使用上のご注意

必ずお守りください

液体調理(ジュースやスープ)以外に使わないでください。	パッキン(カッター用)の取り付け、取り外しのときには、カッター刃で傷つかないようにご注意ください。(パッキン切れによる液漏れの原因)
連続使用するときは4分使用ごとに2分以上休止してください。 使用時間の合計は20分まで、20分使用後は30分以上休止してください。(故障の原因)	飲み口ふたは完全密封ではありません。横倒しになると中身が漏れることがあります。かばんなどに入れて持ち運ばないでください。
空運転をしないでください。(故障の原因)	ボトルに調理物を入れた状態で、長時間保存しないでください。
それぞれのパッキンは必ず取り付けてご使用ください。 (取り付けないと調理物が漏れます)	氷は家庭用冷蔵庫で作った約2.5cm角(約15g)以下の角氷を使ってください。 ※大き過ぎたり、市販の氷を使うとボトルの割れや故障の原因になるおそれがあります。
使用中に回転が止まったときは、モーターの保護装置が働いています。(P11)そのまま、繰り返し使用しないでください。(発煙・異臭、故障の原因)	液体や水分の多い材料と一緒にかくはんしてください。(空回りの原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

- [発煙・発火、感電、けがの原因]
〈異常・故障例〉
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱くなったりする
 - 使用中に異常な回転音がする
 - ボトルにひび割れなどができた
- すぐに販売店に点検・修理を依頼してください

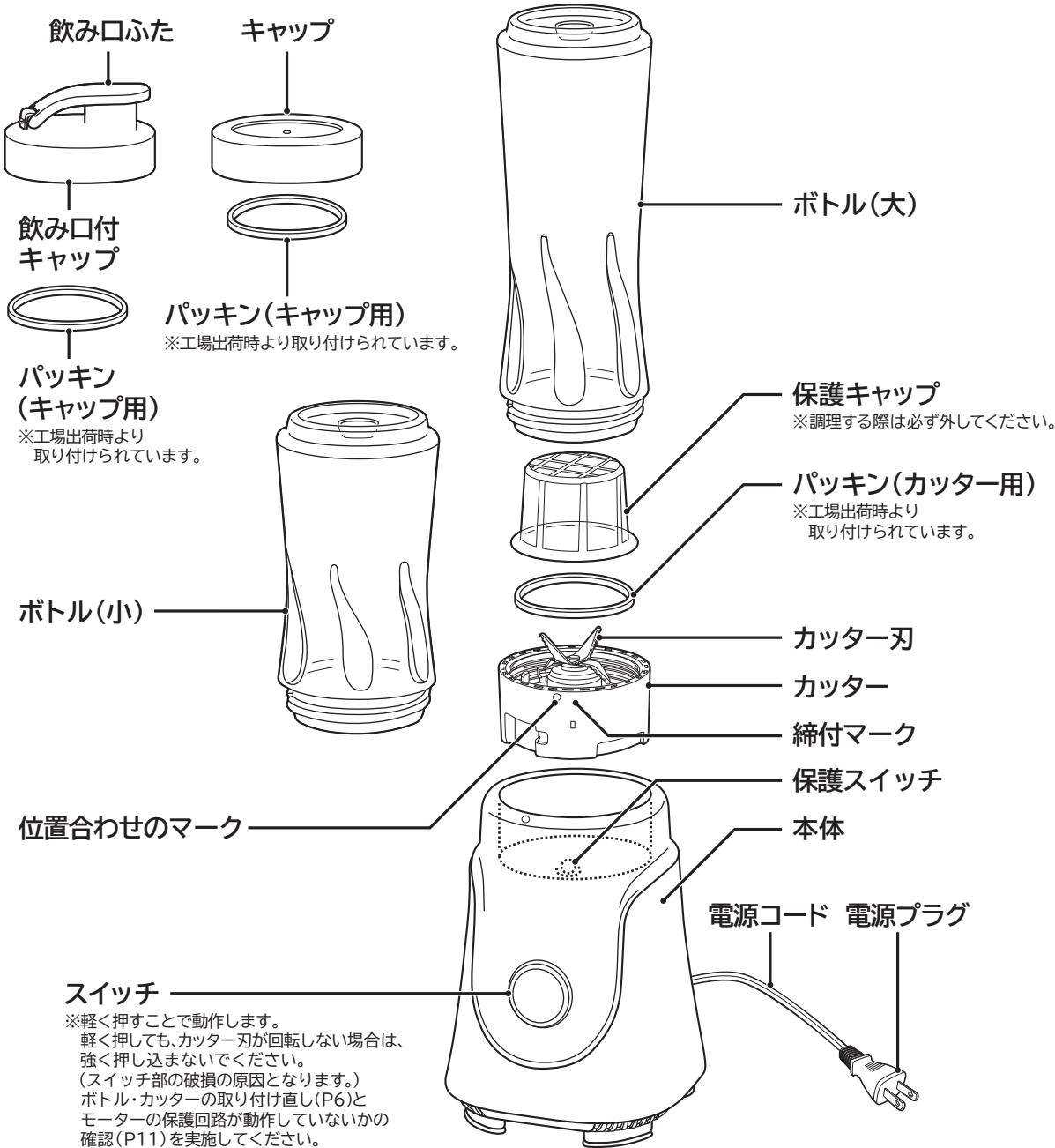
愛情点検



長年ご使用のパーソナルブレンダーの点検を!

ご使用の際、このような症状はありませんか?	●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。 ●電源コードに傷がついていたり、ふれると通電したりしなかったりする。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用中 止	故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。 点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。
-----------------------	---	--------	--

各部のなまえ



付属品

清掃ブラシ

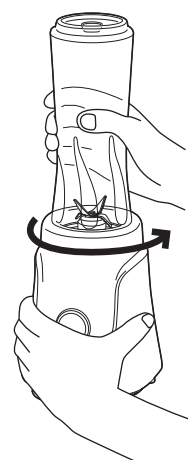


ご使用前に

ご使用前に各部品を洗い、下記手順にそって確実に取り付けてください。

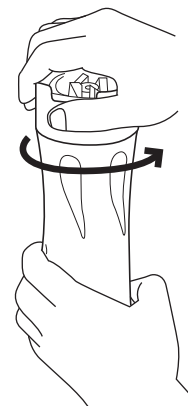
ボトル・カッターの取り外し・取り付け

取り外し



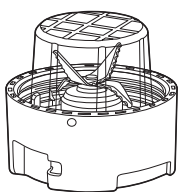
- ①本体をしっかりと押さえ、ボトルを矢印方向(左回り)に回す。

注意 ボトルを本体から外す時に、ボトルだけが回る場合は、ボトルを一度右回りに回して、ボトルとカッターをしっかりと締めつけ直してから外してください。



- ②カッターを上にしてカッターを矢印方向(左回り)に回す。

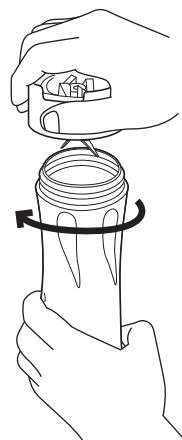
注意 カッター刃に注意



- ③外したカッターはカッター刃を上に向けて置き、すぐに保護キャップをかぶせる。

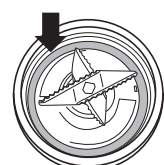
注意 カッター刃に注意

取り付け



- ①保護キャップを取り外す。
②材料の量に応じて、ボトル(大)／ボトル(小)を選ぶ。
③カッターを矢印方向(右回り)にしっかりと締め付ける。

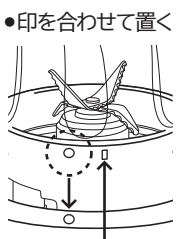
注意 カッター刃に注意



パッキン(カッター用)を忘れずに付ける

※工場出荷時より取り付けられています。

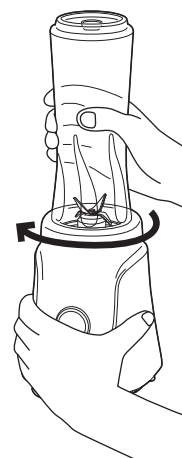
注意 カッター刃でパッキンが傷つかないようにご注意ください。



●印を合わせて置く

■印までしっかり回す

- ④ボトルをカッターと本体の●印を合わせて置く。

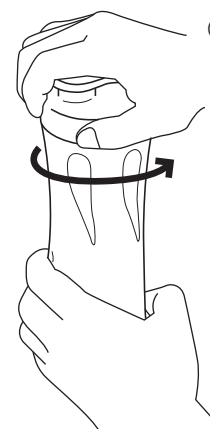


- ⑤本体をしっかりと押さえ、矢印方向(右回り)にしっかりと回し、カッターの「■」が本体の「●」の位置までくるように締め付ける。

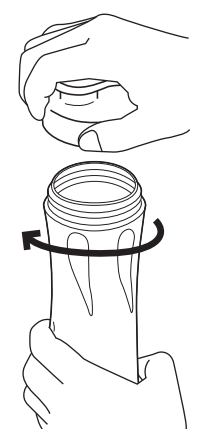
注意 パッキンの付け忘れや切れ、カッターの締め付け不足があると、ボトル内の調理物が漏れます。

キャップの取り外し・取り付け

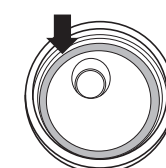
取り外し



- ①ボトルをしっかりと押さえ、キャップを矢印方向(左回り)に回す。



- ①ボトルをしっかりと押さえ、キャップを矢印方向(右回り)にしっかりと締め付ける。

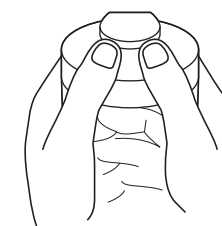


パッキン(キャップ用)を忘れずに付ける

※工場出荷時より取り付けられています。
お手入れ(P10)でパッキンを取り外したときは、キャップの下側の溝に取り付け直してください。

飲み口付キャップについて

飲み口付キャップは、固い場合があります。
両手でしっかりとささえ、両手親指でゆっくりと開け閉めしてください。



キャップを使うとき

- ・パッキン(キャップ用)が取り付けられているか必ず確認してください。(調理物が漏れます)
- ・ボトルを逆さにしたり斜めにすると、飲み口から調理物が漏れます。
- ・とろみのあるものや水分の少ないスムージーなどは、飲み口から出にくいので、飲み口付キャップを使わないでください。

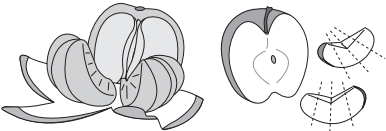
お願い ・パッキンの付け忘れ、切れなどがないか確認してください。(調理物が漏れます)
・カッターは確実に取り付けてください。(取り付け不足だと保護装置が働き運転しません。また、ボトル内の調理物が漏れるおそれがあります)

使いかた

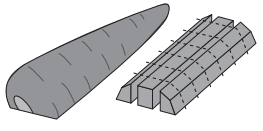
ジュースのつくりかた

下ごしらえ

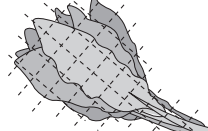
やわらかい材料は
2~3cm角に切る



かたい材料は
1cm角に切る



葉菜類はよく洗い
2cm角に切る

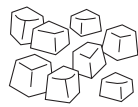


野菜や果物は、皮や芯、種、へたを取り除いてください。また、材料が大きいと固形物が残る場合があります。

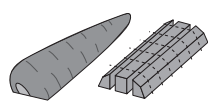
材料を入れる

必ずかたいものから入れる
(液体や、やわらかいものを先に入れると、かたい材料がカッター刃に引っかかって運転が止まりやすくなります)

①角氷



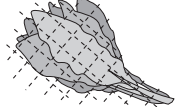
②水分の少ない材料・
かたい材料



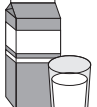
③水分の多い
やわらかい材料



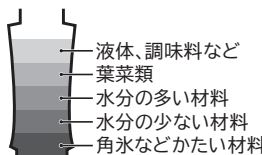
④葉菜類



⑤液体



液体、調味料など
葉菜類
水分の多い材料
水分の少ない材料
角氷などかたい材料



禁止材料について

下記の禁止材料を使用しないでください。(故障、破損の原因)

カテゴリ	禁止材料
かたいもの(故障の原因)	市販の氷
	乾燥大豆・生大豆
	穀類
	うどん
	乾物類(じゃこ、干しえびなど)
	コーヒー豆
	冷凍した食材(野菜、果物)
	かたい種(かき、プラムなど)
	氷砂糖
	黒砂糖(かたまり)
	魚の骨・皮・頭
粘りけの強いもの、 水分の少ないもの(故障の原因)	流動食
	ゆでたじゃがいも
	とろろいも

カテゴリ	禁止材料
粘りけの強いもの、 水分の少ないもの(故障の原因)	ジャム
	ドライフルーツ(レーズンなど)
	水分を加えない野菜ペースト、 肉のすり身
みじん切りを目的としたもの (均一にできません)	ゆで卵・野菜など
油分が出るもの (うまく粉碎できません)	ピーナッツ・くるみなど ※液体と一緒になら使用できます
脂肪や筋の多いもの (カッターに材料が 引っ掛かって回りません)	肉・魚類
	たくあんなど
膨張するもの (吹きこぼれのおそれ)	炭酸水
	60℃以上の熱い材料など

- 1 ボトルを選ぶ

2 食材をボトルに入れる(P8)

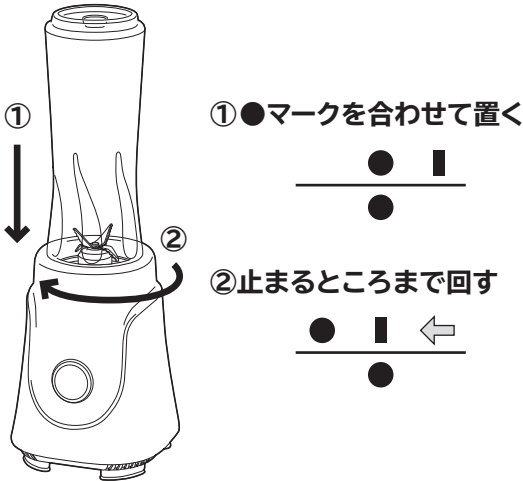
注意 ボトル容量以上は入れない。

3 カッターを取り付ける

4 本体にセットする
- 5 電源プラグを差し込み
本体をしっかりと
押さえながら
スイッチを押す
- 6 スイッチから手を離し
回転が止まったことを
確認してから本体から
手を離す

7 ボトルを本体から外す
- 8 カッターを取り外し、
調理物を取り出す
または、飲み口付キャップ
を取り付け、そのまま飲む

9 電源プラグを抜いてすぐに
お手入れをする(P10)



調理物を取り出しにくいとき

・幅の広いゴムベラ(市販品)をご使用ください。
先端がカーブしているものがおすすめです。

調理物で汚さないために

・ボトルを取り外すときに、調理物が漏れる場合があるので注意してください。
・調理物を注ぐときに調理物がこぼれる場合があるので注意してください。飲み口付キャップを取り付ければゆっくり注げます。

異常音や振動が大きいとき

・スイッチから手を離し、材料を減らしてください。
また、カッターのボトルへの締め付けも確認してください。

お手入れと収納

お手入れするときは

電源プラグをコンセントから抜く

カッター刃の取り扱いには十分注意する

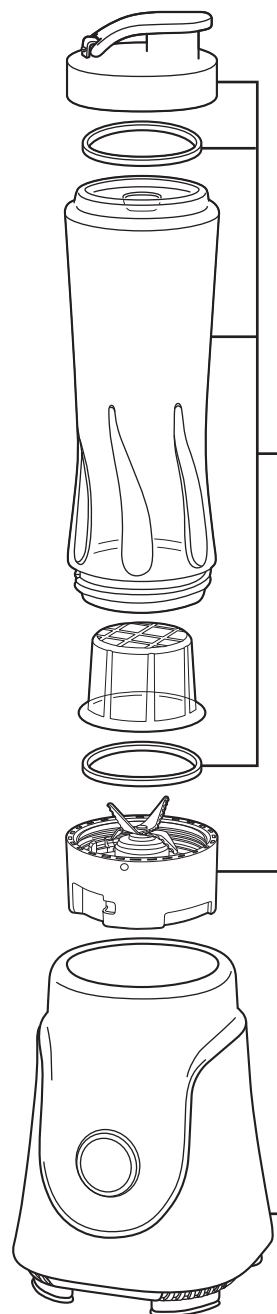
必ず付属の清掃ブラシを使用する。

薄めた台所用洗剤(中性)とやわらかいスポンジを使う

ベンジン・シンナー・漂白剤・スポンジのナイロン面・たわし・磨き粉を使わない。(表面を傷付けます)

60℃以上の湯・食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わない(部品の変形や破損、故障の原因)

洗浄後は必ず水をきり、よく乾かす(サビの発生するおそれ)



ボトル・キャップ・飲み口付キャップ

- 洗った後は、よくすすいでから水分をきってください。
- ボトルについて
・細長いため、柄のついたスポンジで洗うことをおすすめします。

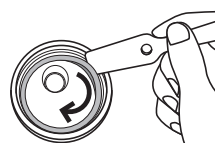
パッキン(キャップ用)・パッキン(カッター用)

- キャップ、飲み口付キャップ、カッターから外して洗ってください。
- 乾いてから取り付けてください。 **注意** カッター刃に注意

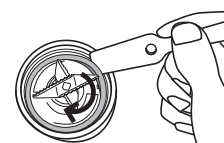
取り外しかた

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンの先端を少し浮かせて取り外す

キャップ用



カッター用



外し方のコツ へらの部分を寝かせて矢印の方向にまわすと外しやすくなります。
※つまようじや針は使用しないでください。

取り付けかた

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンを取りつけてください。

- ①片側を溝の部分にしっかり入れ込む

キャップ用



カッター用



- ②反対側も同じように入れ込む

キャップ用



カッター用



注意 カッター刃でパッキンが傷つかないようにご注意ください

カッター

カッター刃とその周囲は、手を切らないように注意して、付属の清掃ブラシで洗う

本体

よく絞ったふきんなどでふく

樹脂部品の変色について

樹脂部品※は、にんじん・葉菜類の色素が付着して変色します。スポンジで洗っても完全には取れませんが、使用上問題ありません。使用後は早めにお手入れすると、比較的良好に取れます。

※ボトル、キャップ、カッターなど

収納するときは

- ①十分に乾燥させ、収納する(パッキンのにおい移りが軽減されます)
- ②ボトルはキャップ・飲み口付キャップを取り付けて収納する(キャップの紛失を防ぐため)
- ③カッターに保護キャップを被せる

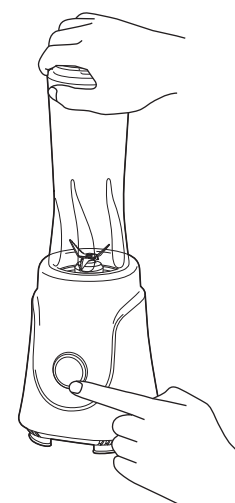
モーターの保護装置について

モーターに負担がかかると、保護装置が働き運転が止まりますが、故障ではありません。次のようにして直してください。

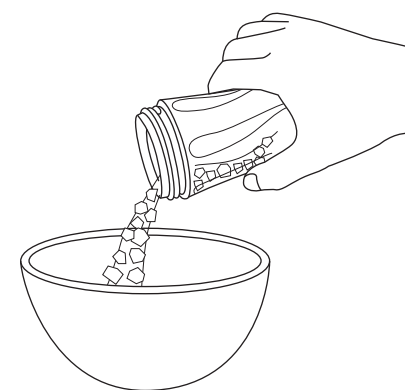
そのまま繰り返し運転しないでください(発煙・異臭や故障の原因)

対処方法(禁止材料を使用していない場合)

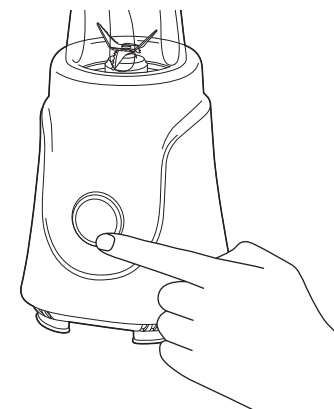
1 スイッチから手を離す



2 材料を半分に減らす 2分以上運転を中止する。



3 スイッチを押す 回らないときは、カッターをセットし直し、再度スイッチを押す。



上記の処理をしてもたびたび運転が止まるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

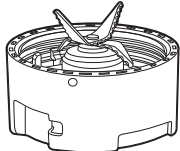
故障かな?と思ったら

下記の事をお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P15)にお問い合わせください。

症 状	調べるところ・対処方法	参照ページ
空回りする	●氷が多すぎる場合は、いったんスイッチを「切」にし、完全に回転が止まってからボトルを本体から外し、軽く振ってください。 ●液体の量が少なすぎる場合は、液体の量を追加してください。	8
スイッチを入れても 運転しない	●ボトルが正しくセットされていない場合は、ボトルと本体の ●マークが合わさるように置き、■マークまでしっかりと回してください。 ●電源プラグが抜けていないか確認してください。 ●材料が引っかかっているか確認してください。 ●ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていないかを確認してください。	9
使用中に 運転が止まる	●禁止材料を入れている、材料が多すぎる、材料がかたい、異常音や振動が大きいときなどは、モーター保護装置が働いた可能性があるので、「モーター保護装置について」に従って直してください。禁止材料を入れている場合は禁止材料を取り除いてください。	8、11
調理物が 漏れる	●ボトルにカッター、キャップ、飲み口付キャップをしっかりと締め付けてください。 ●カッター、キャップ、飲み口付キャップにパッキンが正しく付いているか確認してください。	9、10
異常音や 振動が大きい	●材料が多すぎる場合は、スイッチを「切」にし材料を減らしてください。 ●カッターをボトルにしっかりと締め付けてください。	9

消耗部品について

販売店でお買い求めください。

消耗部品		
パッキン(キャップ用) 部品番号 HX-C1000 001	パッキン(カッター用) 部品番号 HX-C1000 002	カッター 部品番号 HX-C1000 003
		
希望小売価格 300円(税別)	希望小売価格 300円(税別)	希望小売価格 700円(税別)

※パッキン(キャップ用)、パッキン(カッター用)、カッターは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
各パッキンは変色および汚れや傷みがひどくなったり、調理物が漏れるとき、カッターはカッター軸受部が消耗したときに、お買い上げの販売店でお買い求めになり、取り替えてください。

※希望小売価格は2014年5月現在

仕様

電	源	交流100V 50-60Hz共用
消	費	電力
定	格	時 間
容	量	600mL／400mL
コ	ー	ド 長 さ
大	き	幅
	さ	奥 行
		高 さ
質	量	(約)
カ	ッ	タ
	ー	刃

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P15)にお問い合わせください。

① 保証書	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。 保証期間はお買い上げの日から1年です。	
② 修理を依頼される ときは 持込修理 12ページに従って調べていただき、 なお異常のあるときは、使用を中止し、 お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	保証期間中は	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理 内容によっては商品交換にて対応させていただきます。
	保証期間が 過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させ ていただきます。なお、修理内容によっては、有料にて商品交換 で対応させていただきます。
③ 補修用性能部品の 保有期間	当社はこのパーソナルブレンダーの補修用性能部品を、製造打切後6年保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	
④ ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって 販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
⑤ 修理料金のしくみ	修理料金＝技術料＋部品代などで構成されています。	
	技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の 人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
	部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

ご相談窓口(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。	
修理などアフターサービスに関するご相談は エコセンターへ TEL 0120－3121－68 FAX 0120－3121－87 (受付時間)9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日) 携帯電話、PHSからご利用できます。	商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談窓口へ TEL 0120－8802－28 FAX 03－3260－9739 (受付時間)9:00～17:30(月～金) 携帯電話、PHSからご利用できます。 土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は、 休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記エコセンターにて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社へ個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検 	長年ご使用のパーソナルブレンダーの点検を!		●パーソナルブレンダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。	
	ご使用の際、 このような 症状はあり ませんか?	●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。 ●電源コードに傷がついていたり、ふれると 通電したりしなかったりする。 ●その他の異常、故障がある。	▶	ご使用中 止 故障や事故防止のため、電 源スイッチを切り、電源コー ドをコンセントから抜いて、 必ず販売店に点検をご依頼 ください。 点検・修理に要する費用は、 販売店にご相談ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

パーソナルブレンダー保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

なお、商品をお買い上げの販売店(修理申出先)やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

型式	HX-C1000	※お買い上げ日			保証期間
		平成	年	月	日
※お客様	ご住所 ご芳名	〒 - 様			
※販売店	住所 店名	〒 - TEL			

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
(ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載》に使用された場合の故障及び損傷。
(ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ) 本書のご提示がない場合。
(ト) 本書に型式、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口(※15ページ)にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(※15ページ)にお問合わせください。
- 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(※14ページ)をご覧ください。

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 (アクロポリス東京)

TEL. 03 (3260) 9611

FAX. 03 (3260) 9739